



～働きやすい職場環境を目指して～

ワーク・ライフ・バランス 取組好事例集



社員が自発的に取り組む環境を整備し、作業効率が飛躍的に向上しました

株式会社新東

- 業種 卸売・小売業
- 所在地 岡崎市
- 従業員 62名(男性41名、女性21名)
- 事業概要 高圧ガス、医療ガス、LPガス、産業用ロボット、溶接機械、天然ガス、エコステーション、エコ・バルーン、太陽光発電
- URL <http://www.shinto.co.jp/>



- 全社で、コスト意識をもつ有識者の経営哲学を導入。
- 社員自らコスト意識を持ったことで、業務の効率化が進み、対前年比 56%の残業を削減。

主な制度、取組内容



基本は社内システムで閲覧。閲覧後には確認ボタンを押してもらい、管理しています。大きな改正の場合は全体会議で発表しています。

● ノー残業デーの設定

4月より月2回のノー残業デーを設定。95%の人が達成しています。「提案運動制度」からあがった社員の意見を採用しました。

● 利用しやすい有給休暇

申請すれば特例がない限り受理されます。そのために、日頃の業務を部署ごとで共有・分担して行い、1人が休暇をとっても、全体の仕事が止まることがないようにしています。

● 自主的な改革を促す「提案運動制度」

1案件につき500円の商品券を配布、優秀者は全体会議時に表彰など、提案運動制度を設けています。内容としては、業務効率化に対する意見が多く、従業員が積極的に効率化を考えるようになりました。

● 助け合いを意識する「サンキューカード制度」

全社員に「サンキューカード」を2～3枚配布。助けてもらった同僚や上司にメッセージを添えて渡してもらいます。結果は、集計後に社内システム上で公表しています。この制度により、助け合いの精神を具現化しています。

● 業務の効率化を図るため、職種別に出勤時間の変更を検討

通常の勤務時間は8:00～17:00となっていますが、営業員の勤務時間を9:00～18:00に変更を検討しています。業務と連携して勤務時間を設定することで営業員の待機時間を減らし、業務の効率化を図りたいと思っています。

実績

有給休暇取得率：50%

残業時間削減：2010年度(見込み) 対前年 56%削減

社員の声



石油SS事業部
長谷川 朋子さん

仕事のやり方を見直し、予定をたてて仕事をするようになったので効率よく仕事ができるようになり、定時退社ができるようになりました。定時退社をすることによって、仕事のやる気アップにつながります。また、家族との時間や友人との交流、自分の趣味といったプライベートな時間を有意義に過ごせるようにもなりました。プライベートが充実していると、仕事にも良い影響が出ることを実感しています。

やる気アップに
つながったんだね



ワーク・ライフ バランス に取り組むきっかけ

日頃から、企業収益の改善に意識的に取り組んでいます。ワーク・ライフ・バランスへの取組もその改善策の一環として、業務の効率化を図るために、自然に取り組むことになりました。

今後の課題

●就業規則の改定

現在の就業規則の内容が古くなってきているため、今の時代に合った内容に変更していこうと考えています。

●ノー残業デーの強化

女性社員は100%達成できました。ただ、営業職(30名程度)は顧客の都合もあり90%程度の達成にとどまっています。

全社員の意識向上が見られるため、10月以降は、ノー残業デーを月3~4回に増やすことを検討しています。将来的には毎週の実施を目標としていきたいと思っています。

自社 PR コーナー

机上書類ゼロ運動の推進

業務効率を上げるために9月より毎週金曜日の帰社時に各自机の上の書類をゼロにして帰る運動をスタートしています。

掛け声倒れに終わるといけないので、各部署で担当者を決めてお互いにチェックをすることで、息の長い運動として定着させ、それ以外の社内美化につなげられれば、と考えています。

良い例▶



悪い例▶

